

幼児も読める

柳平： 幼い子供に文字を教えるなんてとんでもない、という人もいますが、幼児は、本当に読むことができるのでしょうか。もし、できるとしたら、なぜ、それができるのでしょうか。

ドーマン： これは、たいへん重要で、たいへんおもしろい質問です。幼児は文字を読むことができるか、できないかということは議論ではなく、事実です。

なぜ、幼児は読むことができるか？ これは、非常に重要な問題です。

なぜ、子供は読解で今るか、それは、子供が、すべて皆、語学の天才であるからです。自分たちは、子供より何事においても優れている、と大人は主張し続けています。そして、子供は、大人より劣った大人の雛型だというように、子供を見ながちです。子供は大人のように背は高くない。それは事実です。私のように太ってはいない。確かにそうです。

子供は大人に劣るか

そのため私たちは、子供は大人ほど頭も良くない、と決めています。けれども、これは全く事実と反するわけです。

私が、まだ、青年の頃、フランス語を習得しようと6年間も努力したことがあります。その結果はどうでしょうか。フランスの料理屋へ行って「水を一杯ください」と言うことさえうまくはできません。

一言の日本語も言えなくて、お恥ずかしいのですが、私の前にいらっしゃる若いきれいなお母様方は、日本語を無理なくお話になっています。

今晚、東京で生まれる赤ちゃんにとって、日本語は、外国語であるかもしれません。英語であっても、フランス訥であっても、また、スペイン語であっても生まれてくる赤ちゃんにとっては同じであります。

しかし、3年たって、赤ちゃんが3歳になると、もう日本語を覚えていきます。特別に先生がいたわけでもありません。